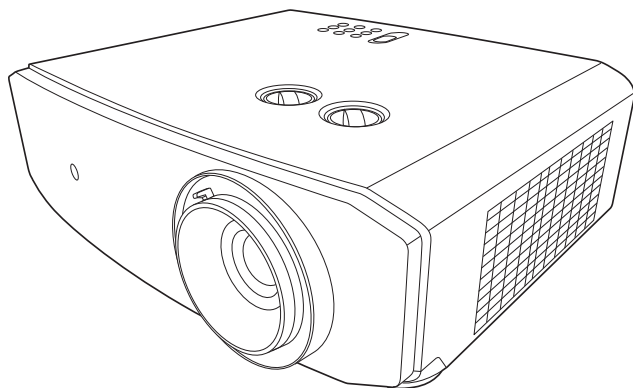


JVC

取扱説明書

DLP プロジェクター

LX-NZ30



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

B5A-4412-00

目次

安全にお使いいただく ために.....	3	インフォメーションメニュー.....	30
安全にお使いいただくため のご注意.....	4	OSD メニューリスト.....	31
はじめに.....	8	メンテナンス.....	34
同梱物（付属品の確認）.....	8	プロジェクターのお手入れ.....	34
各部のなまえ.....	9	光源情報.....	35
操作部および機能.....	10	光源時間を知るには.....	35
本体操作パネル.....	10	光源の寿命を延長する.....	35
リモコン.....	11	インジケータ.....	36
プロジェクターを設置 する.....	13	困ったときは？.....	37
設置場所を決める.....	13	仕様.....	38
スクリーンサイズの調整.....	14	プロジェクターの仕様.....	38
接続する.....	16	外形寸法.....	39
操作.....	17	対応信号.....	40
プロジェクターの起動.....	17	保証と著作権について.....	43
プロジェクターの終了.....	17	保証.....	43
入力ソースの選択.....	18	著作権.....	43
投写画面の調整.....	18	おことわり.....	43
投写角度の調整.....	18	商標と著作権について.....	43
画面サイズとフォーカスの調整.....	19		
台形補正.....	19		
4 隅の調整.....	20		
メニューの操作.....	21		
OSD メニューについて.....	21		
OSD メニューの使用方法.....	21		
ピクチャーメニュー.....	22		
基本設定メニュー.....	24		
詳細設定メニュー.....	25		
システムメニュー.....	26		
表示メニュー.....	28		
電源管理メニュー.....	29		

安全にお使いいただくために

FCC 情報（米国のみ）

注意：

JVCKENWOOD Corporation が認めない変更または改ざんを行った場合は、この装置を使用する権利が無効になります。

注：

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変える、または設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあける。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験のあるラジオ / テレビの技術者に補佐を求める。

適合宣言

モデル番号：LX-NZ30BG、LX-NZ30WG

商標：JVC

発売元：JVCKENWOOD USA Corporation

所在地：1440 Corporate Drive、Irving, TX 75038

電話番号：678-449-8879

この機器は FCC 規定の 15 部に従います。

その操作は次の条件に従います。

(1) この機器は有害な干渉を生じないこと (2) この機器は不都合な操作を生じる可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受けること。

ノイズの発生についての宣言

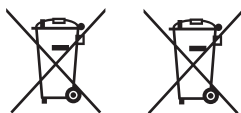
操作者の位置における音圧レベルは、ISO7779 の規定に従って 60dB(A) と同等、またはそれ以下です。

お客様へ

本製品は、電磁気の互換性と電気的な安全性について、ヨーロッパの有効な指令と基準に準拠しています。

ヨーロッパにおける代表者は、JVCKENWOOD Corporation です。JVCKENWOOD Deutschland GmbH Konrad-Adenauer-Allee 1-11, 61118 Bad Vilbel, GERMANY

使用済み装置とバッテリーの廃棄について



製品

電池

【ヨーロッパ連合のみ】

これらの記号は、これらの記号が付いている装置を一般の家庭用ゴミとして廃棄できないことを意味しています。本製品またはバッテリーを廃棄する場合は、回収業者か適切なりサイクル業者に依頼してください。

注意：バッテリーの下に記載されている Pb 記号は、このバッテリーに導線が含まれていることを意味しています。

安全にお使いいただくための ご注意

お使いのプロジェクターは、情報テクノロジー機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされていますが、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

1. プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
 - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
 - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。
 - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。
3. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクターが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。
4. 次の場所に装置を置かないでください。
 - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。
 - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
 - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。
 - 火災報知器に近い場所。
 - 「**プロジェクターの仕様**」に記載される値を超える場所。
5. プロジェクター動作中に通気孔をふさがないでください（スタンバイモードでも同様）。
 - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
 - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
6. メインの電源電圧が ±10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクターを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお勧めします。
7. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。

8. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクターに液体が入った場合は、保証は適用されません。プロジェクターを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクターを外し、JVCKENWOOD Corporation にご連絡の上プロジェクターの点検をご依頼ください。
9. 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



RG2 IEC 62471-5:2015

10. 本書に記載されていない操作、調整、手順を行うことは、危険なレベルの被ばくを引き起こす可能性があります。
11. 絶対にお子様がプロジェクターの光線を覗くことがないようにしてください。
12. 投写レンズの前でリモコンを使ってプロジェクターの電源をオンにすることはおやめください。
13. 光線の内側で望遠鏡や双眼鏡などの視覚補助具をお使いになることはおやめください。
14. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。適切な天井取り付けキットをご使用ください。
15. この装置は接地されていなければなりません。
16. 本体を設置する際は、デバイスに手が届きやすい固定配線に繋がく、本体の近くにある手が届きやすいコンセントに電源を繋いでください。本体操作時にエラーが発生した場合は、電源を切るか、コードをコンセントから抜いてください。

高温についてのご注意

動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。火傷の原因となることがあります。これらに手を触れないでください。触れると、火傷する恐れがあります。特に小さいお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やケガの原因となることがあります。

プロジェクターの天井取り付け

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、プロジェクター専用天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

そうしなければ、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

適切なプロジェクター専用天井取り付けキットは、プロジェクターを購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途 Kensington ロックをお求めになり、プロジェクターの Kensington ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお勧めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。

いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。

- ⚠ 将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。使用後にプロジェクターを梱包する必要がある場合は、搬送中に製品が破損しないように投写レンズを適切な位置に調整し、レンズをレンズクッションで保護し、さらにレンズクッションとプロジェクタークッションをぴったりとくっつけてください。

点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。

結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクターを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクターの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも2時間以上経過してから装置を使用してください。

揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態では放置しないでください。装置に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で装置を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

処理

本装置には人体や環境に有害な素材が使用されています。

- ・ リード（はんだに使用されています）

製品を処理する方法については、お住まい地域の環境局にお尋ねください。

警告

クラス1レーザー製品につき、レーザー光線を直視することはおやめください

注意

使用中は絶対にレンズを覗かないでください。

光源の仕様

105 W 半導体レーザー x 1

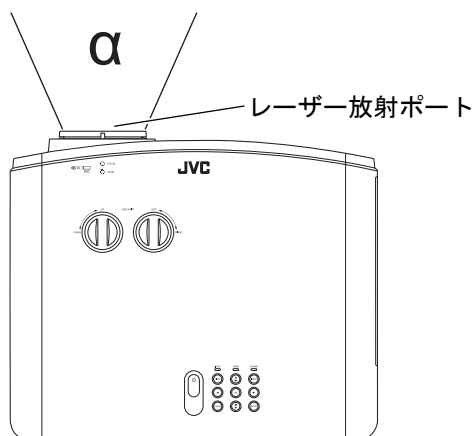
波長 449 - 461 nm

最大出力 64 mW

本製品のレンズからの光線拡散角度

ワイド : $\alpha = 30.3^\circ$

望遠 : $\alpha = 19.9^\circ$



クラス 1 レーザー製品

レーザー警告ラベル



- 本製品は次の規格に適合しています：EN60825-1:2014+A11:2021。
- 本製品は次の規格に適合しています：EN50689:2021。
- 本製品は映像を壁またはスクリーンに投写するために設計されています。

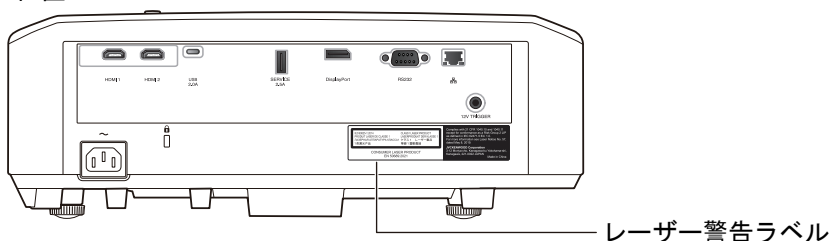
警告

使用中は絶対にレンズを覗かないでください。

注意

本書に記載されていない操作、調整、手順を行うことは、危険なレベルの被ばくを引き起こす可能性があります。

ラベルの位置

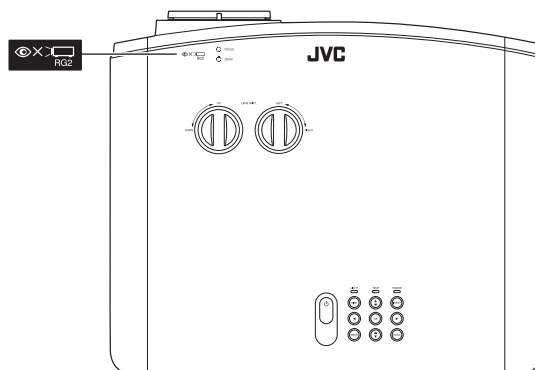


注意

- 絶対にプロジェクターの光線を覗かないようにしてください。
- 投写レンズの正面にいるとき、リモコンを使ってプロジェクターを起動する場合は、レンズからの光線にご注意ください。
- 光線の内側で望遠鏡や双眼鏡などの視覚補助具をお使いになることはおやめください。

IEC62471-5

アイコンの位置



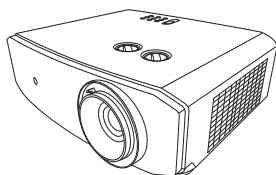
光源は非常に明るいため、光線を直接見つめないでください。RG2 IEC62471-5:2015

はじめに

同梱物（付属品の確認）

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていない付属品もあります。ご購入場所をご確認ください。

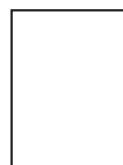
☞ 一部のアクセサリは、国によって異なる場合があります。



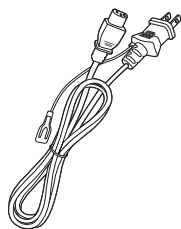
プロジェクター



リモコンと電池



クイックスタートガイド

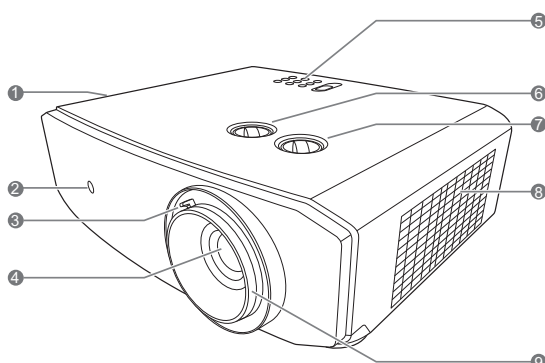


電源ケーブル*

☞ * ご使用地域に合わせた電源コードが付属します。

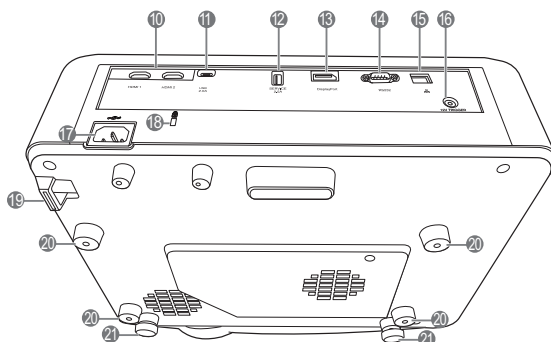
各部のなまえ

前面 / 上面



1. 排気口
2. 正面赤外線リモートセンサー
3. ズームリング
投写イメージのサイズを調整します。
4. 投写レンズ
5. コントロールパネル（詳細は「[本体操作パネル](#)」を参照してください。）
6. レンズシフトノブ（左/右）
投写イメージの水平位置を調整します。
7. レンズシフトノブ（上/下）
投写イメージの垂直位置を調整します。
8. 吸気口
9. フォーカスリング
フォーカスを調整します。

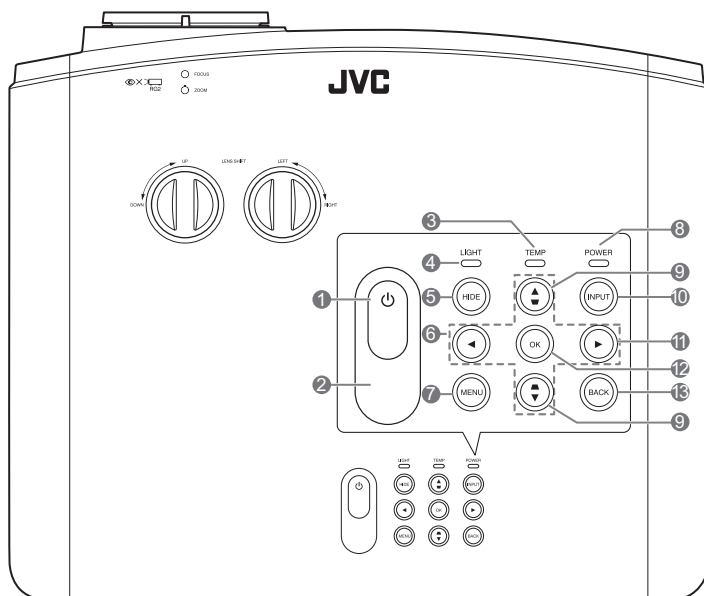
背面 / 底面



10. HDMI ポート (HDCP 2.3)
11. USB ポート
12. SERVICE (USB Type-A) ポート
外部デバイスの充電に使用します。
13. DisplayPort ポート
14. RS-232 コントロールポート
15. RJ-45 LAN コントロールポート
16. 12VDC 出力
電子スクリーンや照明コントロールなど、外付け装置を使用するために使用します。これらの装置の接続方法については、販売店へお尋ねください。
17. AC 電源コード差し込み口
18. Kensington ロックスロット
19. セキュリティバー
20. 天井取り付け用の穴
21. 高さ調整脚

操作部および機能

本体操作パネル



1. 電源

スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

2. IR リモートセンサー

3. TEMP (温度インジケータ)

プロジェクターの温度が異常に高くなると赤く点灯します。

4. LIGHT (ライトインジケータ)

光源の状態を示します。光源に問題が発生すると、点灯または点滅します。

5. HIDE

映像を一時的に消します。本体キーまたはリモコンを押すと、映像が復帰します。

6. 矢印キー (◀、▲、▶、▼)

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

7. MENU

メニューを表示します。表示中に再度押すとメニューが消えます。

8. POWER (電源インジケータ)

プロジェクター動作中に点灯または点滅します。

9. 台形補正キー (◀、▲/▼、▶、▼▲)

OSD メニューが表示されていないとき、台形補正画面が開きます。投射角度により生じる映像のゆがみを補正します。

10. INPUT

入力ソースを切り替えます。

11. ▶

パネルキーロックを有効にします。キーをロック解除するには、▶ を 3 秒間押します。または、リモコンを使って OSD メニューから設定します。

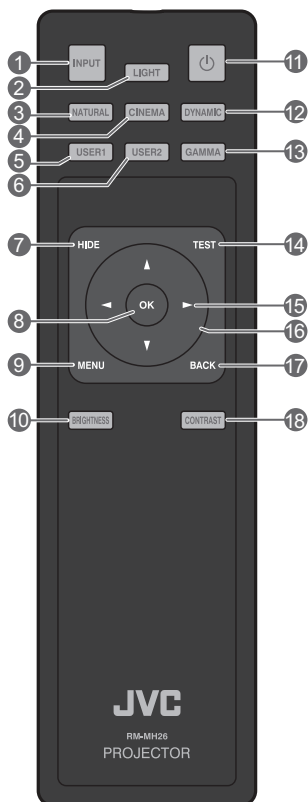
12. OK

選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を確定します。

13. BACK

前のオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューに戻り、行った変更内容を保存して終了します。

リモコン



1. INPUT

入力ソースを切り替えます。

2. LIGHT

リモコンのバックライトを数秒間オンにします。バックライトをオンにしたままにするには、バックライトがオンの状態で別のキーを押してください。バックライトをオフにするには、再度キーを押します。

3. NATURAL

ピクチャーモードを選択します。 :
Natural

4. CINEMA

ピクチャーモードを選択します。 :
シネマ

5. USER1

ピクチャーモードを選択します。 :
ユーザー設定 1

6. USER2

ピクチャーモードを選択します。 :
ユーザー設定 2

7. HIDE

映像を一時的に消します。本体キーまたはリモコンを押すと、映像が復帰します。

8. OK

選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を確定します。

9. MENU

メニューを表示します。表示中に再度押すとメニューが消えます。

10. BRIGHTNESS

輝度調整の設定バーが表示されます。

11. 電源

スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

12. DYNAMIC

ピクチャーモードを選択します :
ダイナミック。

13. GAMMA

ガンマ調整メニューを表示します。

14. TEST

テストパターンを表示します。

15. ▶ 右

パネルキーロックを有効にします。キーをロック解除するには、▶ を 3 秒間押します。または、リモコンを使って OSD メニューを設定します。

16. 矢印キー (◀ 左、▶ 右、▲ 上、▼ 下)

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効なとき、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

OSD メニューが有効でないとき、**台形補正**画面が開きます。

17. BACK

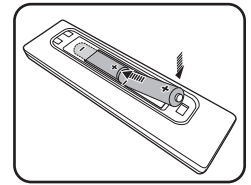
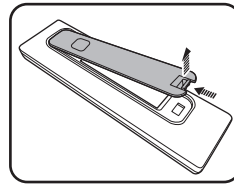
前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

18. CONTRAST

コントラストを調整します。

リモコンの電池の装着 / 交換

1. リモコンを裏返し、刻みを矢印の方向にスライドさせてバッテリーカバーを開きます。
2. 中に入っている電池があれば取り出し（必要な場合）、記載されている極性に合わせて単3電池を2個入れてください。プラス極は (+) 方向に、マイナス極は (-) 方向に入れます。
3. カバーをリモコン本体に戻して、正しい位置にしっかりとスライドさせてください。カチッという音がしたら完了です。



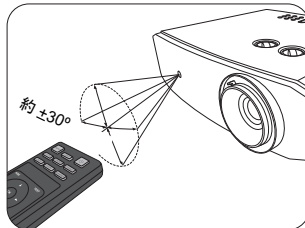
- ⚠️ リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など極端に高温になったり、低温になったりする場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。
- 電池は高地で気圧が非常に低い場所に放置すると、爆発したり、可燃性液体やガスが漏れだす可能性があります。

リモコンの有効範囲

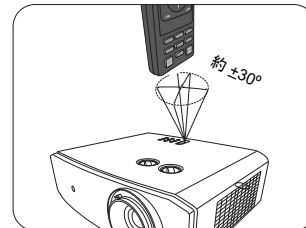
リモコンはプロジェクターの IR リモコン センサーの正面から、30 度以内の角度で使用してください。リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（～ 26 フィート）以内で使用してください。

リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に障害物がないことを確認してください。

- 正面からプロジェクターを操作する



- 上からプロジェクターを操作する



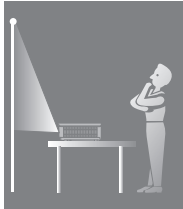
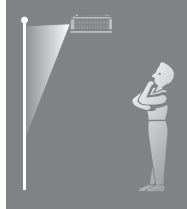
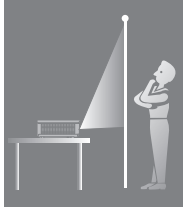
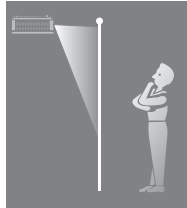


プロジェクターを設置する

設置場所を決める

プロジェクターの設置場所を決める際には、次のことに配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置
- コンセントの位置
- プロジェクターとその他の機器の間の位置と距離

このプロジェクターは、次の方法で設置できます。

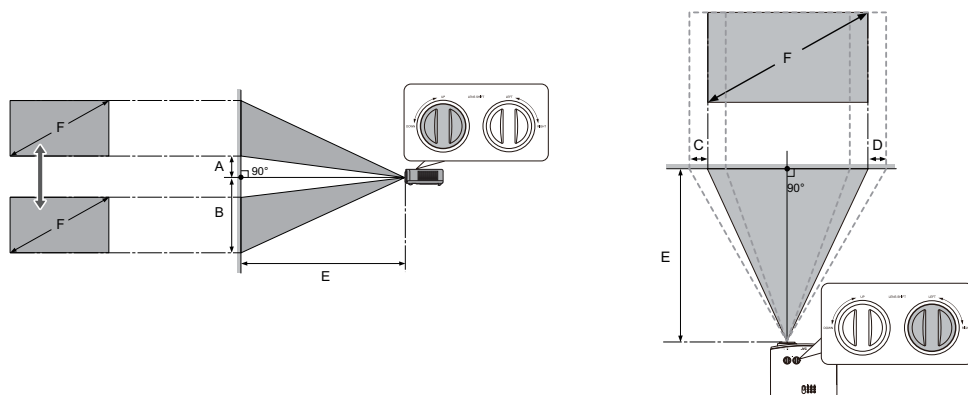
<p>1. 正面： プロジェクターをスクリーンの正面に設置します。</p> <p>プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。</p> <p>システム > Projector Mode > 正面</p>		<p>3. 天吊正面： プロジェクターをスクリーン正面の天井に取り付けます。</p> <p>プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。</p> <p>システム > Projector Mode > 天吊正面</p>		
<p>2. 背面： プロジェクターをスクリーン背面に設置します。</p> <p>プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。</p> <p>システム > Projector Mode > 背面</p>			<p>4. 天吊背面： プロジェクターをスクリーン背面の天井に取り付けます。</p> <p>プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。</p> <p>システム > Projector Mode > 天吊背面</p>	
<p> 専用の背面投写用スクリーンが必要です。</p>		<p> 専用の背面投写用スクリーンと、適切な天井取り付け用キットが必要です。</p>		

スクリーンサイズの調整

投射可能な画面サイズは、プロジェクターとスクリーンの距離によって異なります。本体シフトノブを操作することで投射位置を上下左右に調整可能です。

フロント投写

- 投写位置をレンズシフトの縦方向に調整するとき
- 投写位置をレンズシフトの横方向に調整するとき



- A: レンズの中心から投写画像の下端までの距離（レンズシフトが最高レベルまで上がっているとき）
- B: レンズの中心から投写画像の下端までの距離（レンズシフトが最低レベルまで下がっているとき）
- C: レンズ中央の移動距離（レンズシフトが最も左に設定されているとき）
- D: レンズ中央の移動距離（レンズシフトが最も右に設定されているとき）
- E: プロジェクターからスクリーンまでの距離
- F: 投写画像のサイズ

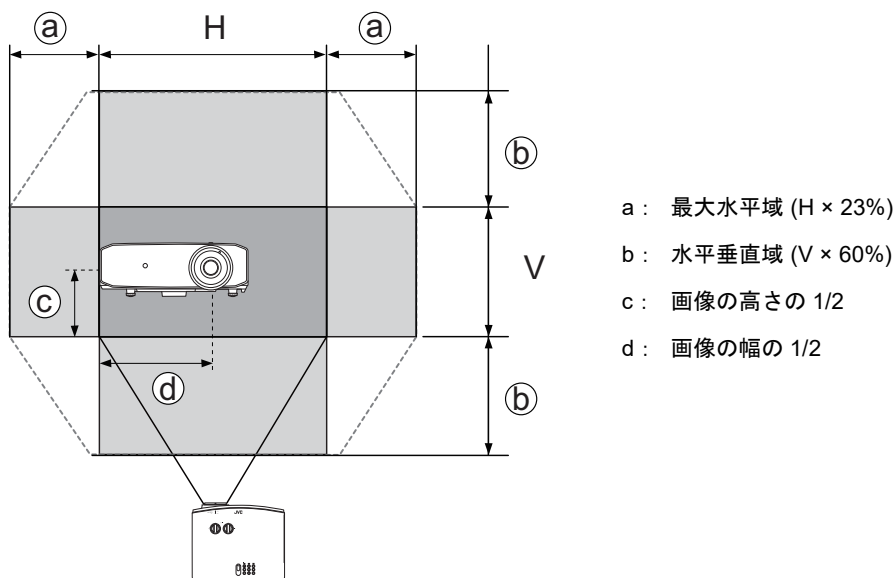
- スクリーンの縦横比は 16:9 であり、投写画像の縦横比は 16:9 です。

スクリーンサイズ		投写画像のサイズ (F)				投写距離 (E)				オフセット (A)		オフセット (B)		オフセット (C、D)	
対角		高さ		幅		最短 (ワイド)		最長 (望遠)							
インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm
80	203	39	100	70	177	94	240	151	384	3.9	10	43.1	110	16.0	41
90	229	44	112	78	199	106	270	170	432	4.4	11	48.5	123	18.0	46
95	241	47	118	83	210	112	285	180	456	4.7	12	51.2	130	19.0	48
100	254	49	125	87	221	118	300	189	480	4.9	12	53.9	137	20.0	51
110	279	54	137	96	244	130	330	208	528	5.4	14	59.3	151	22.1	56
120	305	59	149	105	266	142	360	227	576	5.9	15	64.7	164	24.1	61
130	330	64	162	113	288	154	390	246	624	6.4	16	70.1	178	26.1	66
140	356	69	174	122	310	165	420	265	672	6.9	17	75.5	192	28.1	71
150	381	74	187	131	332	177	450	283	720	7.4	19	80.9	205	30.1	76
160	406	78	199	139	354	189	480	302	768	7.8	20	86.3	219	32.1	81

スクリーン サイズ		投写画像のサイズ (F)				投写距離 (E)				オフセット (A)		オフセット (B)		オフセット (C、D)	
対角		高さ		幅		最短 (ワイド)		最長 (望遠)							
インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm
170	432	83	212	148	376	201	510	321	816	8.3	21	91.7	233	34.1	87
180	457	88	224	157	398	213	540	340	864	8.8	22	97.1	247	36.1	92
200	508	98	249	174	443	236	600	378	960	9.8	25	107.9	274	40.1	102

☞ 測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。プロジェクターを完全に固定する場合は、事前に実際のプロジェクターを使って投射サイズ、距離、プロジェクターの光学的特性をお試しになることをお勧めします。

レンズシフトの投写範囲



⚠ つまみをこれ以上回せないことを知らせるカチッという音が聞こえたら、回すのを止めてください。それ以上つまみを回すと破損の恐れがあります。

- ☞
- 水平方向と垂直方向に同時にシフトすることはできません。
 - 水平に設置されていない場合、台形に投射画像がゆがむことがあります。画像が歪む場合は、「[投写画面の調整](#)」を参照してください。

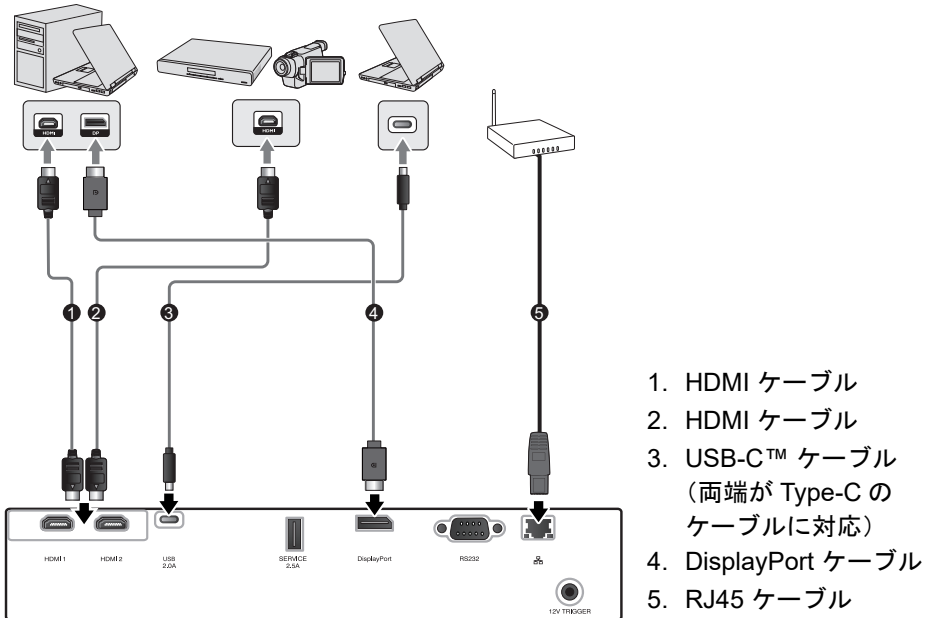
接続する

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しいケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認します。

☞ 下の接続図に示されたケーブルは本体に同梱されていません。(詳細は、「[同梱物 \(付属品の確認\)](#)」を参照してください)。ケーブルはお近くの電気店でお求めください。

ノートブックまたは
デスクトップ
コンピューター A/V デバイス ノートパソコン



端子	HDCP ver.	対象
HDMI 1	2.3	4K/HDR ソース
HDMI 2	2.3	4K/HDR ソース
USB	2.3	4K/HDR ソース
DisplayPort	2.3	4K/HDR ソース

☞ 4K (Ultra HD)/HDR をご覧になるには HDMI1 および HDMI 2 端子に接続してください。

☞ 外部機器から 4K の映像信号を入力する場合は、プレミアムハイスピード HDMI ケーブル (18 Gbps 対応) をご使用ください。

☞ USB は、5V/2A 出力で DP Alt モードに対応します。

☞ DP Alt モードに対応する USB-IF 認証 USB-C™ ケーブルをお使いになり、USB ポートに接続してください。このポートは、両端が Type-C のケーブルにしか対応しません。

☞ DP Alt モード互換機器との接続は保証できません。

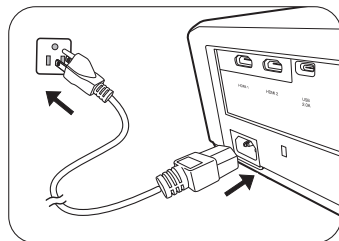
操作

プロジェクターの起動

1. 電源ケーブルをプロジェクターとコンセントに差し込みます。電源を入れると、**POWER（電源インジケータ）**が緑色に点滅します。

⚠ 感電や火災などの危険防止のため、付属の電源ケーブルを使用してください。

2. **⏻** を押してプロジェクターを起動します。プロジェクターの電源を入れると、**POWER（電源インジケータ）**が緑色に点灯します。
ファンが動作を開始し、ウォームアップ中にスタートアップ画像が表示されます。ウォームアップ中は、プロジェクターは操作できません。

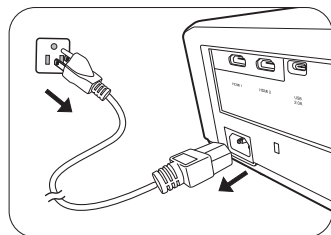


プロジェクターの終了

1. **⏻** を押します。プロジェクターにシャットダウンの確認メッセージが表示されます。
2. もう一度 **⏻** を押してください。**POWER（電源インジケータ）**が緑色に点滅し、ファンが2分ほど作動して光源を冷却します。冷却中は、プロジェクターは操作できません。
3. クーリングが終了すると、**POWER（電源インジケータ）**が緑色に点滅します。

長期間プロジェクターをご使用にならない場合は、電源ケーブルを抜いておいてください。

🗨 プロジェクターの電源を切った直後に再び電源を入れると、高熱により光源の寿命が短くなる場合がありますのでお止めください。実際の光源の寿命は、環境や使い方により異なります。



入力ソースの選択

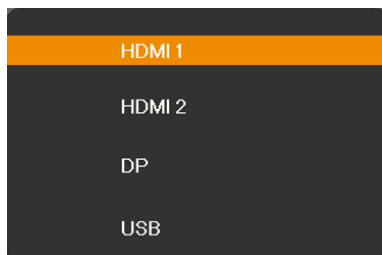
このプロジェクターは同時に複数の装置と接続することができます。ただし一度に表示できる装置は 1 台のみです。起動時にプロジェクターは自動的に有効な信号を検出します。

常に信号を自動検出させたい場合は、

- システムメニューに進み、**Auto Input Search** を有効にします。(26 ページの「Auto Input Search」を参照してください)

ビデオソースを選択するには：

1. **INPUT** を押して、ソース選択バーを表示します。



2. 任意の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に **OK** を押します。

信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。プロジェクターに複数の装置が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

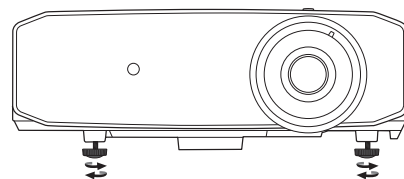
☞ このプロジェクターのネイティブ ディスプレイ解像度については、「**プロジェクターの仕様**」をご参照ください。最高の画質にするには、この解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、アスペクト比の設定によってプロジェクターが画像の縦横比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。詳細は、「**アスペクト比**」を参照してください。

投写画面の調整

投写角度の調整

プロジェクターには 2 個の高さ調節用フットが付いています。これらの調整用脚を使用すると、画像の高さと投写角度を変更できます。適切な角度になるようにフットを調整してください。

☞ スクリーンとプロジェクターが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。このような問題を補正する方法については、「**台形補正**」を参照してください。

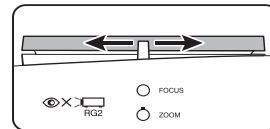
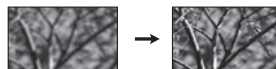
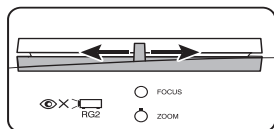
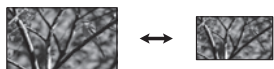


⚠ 光源が点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。光源からは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。

画面サイズとフォーカスの調整

投写画像のサイズを調整するには、プロジェクターのズームリングを使います。

画像をシャープにするには、プロジェクターのフォーカスリングを使います。



台形補正

台形補正とは、正面から投射しなかった結果、投写画像が台形になる状態のことです。プロジェクターがスクリーンに対して垂直でないときに生じます。

プロジェクターの高さを調整するほか、次のいずれかの手順に従って手動で修正する必要があります。

- 次のいずれかの方法で台形補正画面を表示します。
 - プロジェクターの ▲/▼、▼/▲、◀ または ▶ を押します。
 - リモコンの ▲/▼、▼/▲ または ▶ を押します。

- 次の図は、台形補正の歪みを補正する方法を示しています。



- 画像下部の台形補正を補正するには、▼ または ▲/▼ を使用します。
- 画像上部の台形補正を補正するには、▲ または ▲/▼ を使用します。
- 画像右側の台形補正を補正するには、◀ または ▶ を使用します。
- 画像左側の台形補正を補正するには、◀ または ▶ を使用します。

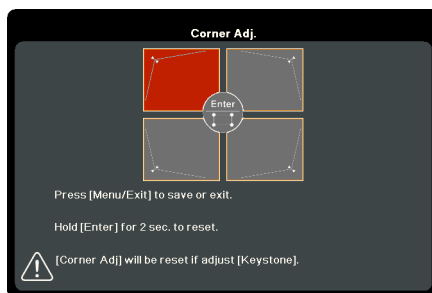
完了したら、**BACK** を押して変更内容を保存し、終了します。

ご使用の設置状況によっては、台形補正では正しく補正できない場合があります。そのような場合は、できるだけ設置条件を見直してスクリーンに対して真っ直ぐに投写してください。

4 隅の調整

水平値および垂直値を設定することで、画像の4隅を手動で調整できます。

1. 表示メニューを開き、**四隅の調整**を選択して**OK**を押します。
2. **▲/▼/◀/▶**を押して隅を1つ選択し、**OK**を押します。
3. 角度を45°または90°を選択し、**OK**を押します。
4. 画面の指示に従って、**▲/▼/◀/▶**を使って値を調整してください。

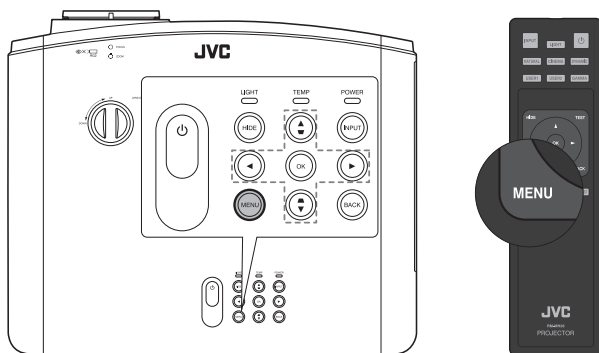


☞ **OK**を2秒間押し続けると、隅の調整が既定値に戻されます。

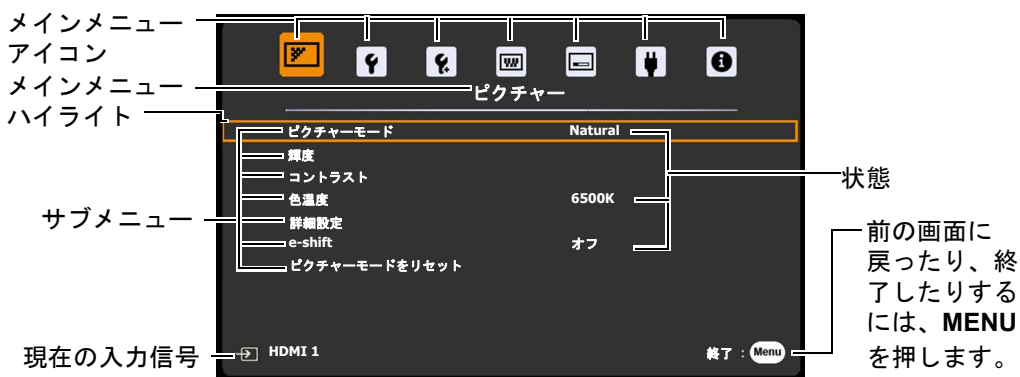
メニューの操作

OSD メニューについて

OSD メニューにアクセスするには、**MENU** を押します。



OSD メニューの使用法





OSD メニューにアクセスするには、プロジェクターまたはリモコンで **MENU** を押します。次のメインメニューで構成されています。詳細は、次のメニューアイテムのリンクをご覧ください。




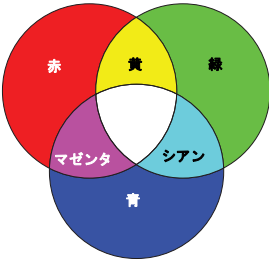
1. [ピクチャーメニュー](#) (22 ページ参照)
2. [基本設定メニュー](#) (24 ページ参照)
3. [詳細設定メニュー](#) (25 ページ参照)
4. [システムメニュー](#) (26 ページ参照)
5. [表示メニュー](#) (28 ページ参照)
6. [電源管理メニュー](#) (29 ページ参照)
7. [インフォメーションメニュー](#) (30 ページ参照)

使用可能なメニュー アイテムは、接続されたビデオソースか、指定した設定により異なります。使用できないメニュー アイテムは、グレー表示されます。

- プロジェクターリモコンの矢印キー (◀/▶/▲/▼) を使って、メニューアイテムを選択します。
- **OK** を使って、選択したメニューアイテムを確定します。

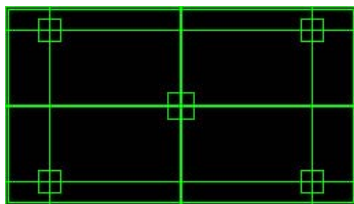
ピクチャーメニュー

サブメニュー	機能と説明
ピクチャーモード	<p>操作環境に最も合ったプリセットのピクチャーモードと、入力信号の画像タイプを選択します。</p> <p>プリセットのピクチャーモードの説明は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Natural : 色彩と階調を重視した画質で、ドラマやライブ映像などのビデオ素材の鑑賞に適しています。 • シネマ : 映画らしい彩度とコントラストでシアタールーム等の暗室での映画作品全般の鑑賞に適しています。 • ダイナミック : 投写画像の輝度を最大化します。このモードは、明るい部屋など、最高輝度が必要な状況に適しています。 • ゲーム : 照明が暗い部屋でビデオゲームを楽しむのに適しています。 <input type="checkbox"/> ゲームモードを選択しているときは、Low Latency Mode がオンになります。 • Animation : アニメーションに適した画質設定です。 • ユーザー設定 1/ユーザー設定 2 : カスタム設定を呼び出します。ユーザー設定 1/ユーザー設定 2 を選択した後は、選択した入力信号に応じて、表示メニューの中の一部のサブメニューを調整できます。 <p><input type="checkbox"/> HDR10 または HLG (ハイブリッドログガンマ) コンテンツが入力された場合は、自動的に専用画像モードに切り替わります。</p>
輝度	<p>画像の明るさを調整します。画像の黒い領域が黒く表示され、暗い領域の詳細が見えるように調整してください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>値を上げると画像全体が明るくなり、値を下げると画像全体が暗くなります。</p> </div> </div>
コントラスト	<p>画像の明るさと暗さの差を調整します。輝度値を調整した後は、コントラストを調整してピークホワイトレベルを設定してください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>値を高くするほどコントラストが増加します。</p> </div> </div>
色温度	<p>Settings : 9500K、8500K、7500K、6500K、5500K</p> <p>次のオプションを調整すると、色温度を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン : 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。 • 赤オフセット/緑オフセット/青オフセット : 赤、緑、青の明るさレベルを調整します。この機能は、YCbCr 入力時に Color Space が YCbCr に設定されているときには使用できません。また、Color Space が自動的に設定され、かつ、入力がフルレンジの YCbCr 信号のときにも使用できません。


サブメニュー	機能と説明
詳細設定	<p>• シャープネス</p> <p>画像がシャープまたはソフトになるように調整します。</p>  <p>値を高くすると画像がシャープになります。値を低くすると画像がソフトになります。</p>
	<p>• ガンマ調整</p> <p>ガンマとは、入力ソースと画像の明るさの関係を指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2.2 : 標準のガンマ値です。 • 1.8/2.0/2.4/2.6 : 値を高くするほど画像が暗くなります。 <p> この機能は HDR モードでは無効になります。</p>
	<p>• Picture Tone</p> <p>画質を高めるためには、手動で調整することも可能です。値を上げると、映像が明るくなります。逆に値を下げると、映像は暗くなります。</p> <p> この機能は、HDR10 または HLG 画像モードでのみ調整できます。</p>
	<p>• BrilliantColor</p> <p>BrilliantColor のレベルを 2 から 10 の範囲で 1 レベルずつ選択できます。初期設定はオフです。</p>
	<p>• カラーマネージメント</p> <p>6 色 (RGBCMY) を調整することができます。調整したい色を選択し色域や彩度を調整してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. OK を押すとカラーマネージメント画面が表示されます。 2. 原色 を選択し、◀/▶ を押して R (赤)、G (緑)、B (青)、C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (黄) の中から色を選択します。 3. ▼ を押して、色相 を選択し、次に ◀/▶ を押してその範囲を選択してください。範囲を広げると、隣り合う 2 色のより広い範囲の色が含まれます。  <p>次の図は、色が互いに関係する様子を示しています。</p> <p>例えば、R を選択し、その範囲を 0 に設定すると、純粋な赤しか選択されます。その範囲を広げると、黄色に近い赤とマゼンタに近い赤の両方が含まれます。</p>

サブメニュー	機能と説明
詳細設定	<p>4. ▼ を押して、彩度* を選択し、次に ◀/▶ を押してその値を調整してください。調整内容は直ちに画像に反映されます。</p> <p>5. ▼ を押して、ゲイン を選択し、次に ◀/▶ を押してその値を調整してください。選択した原色のコントラストレベルに影響します。調整内容は直ちに画像に反映されます。</p> <p>6. すべての調整が終わるまで、ステップ 2 から 5 を繰り返してください。</p> <p>7. 完了したら、BACK を押して終了してください。</p> <p>* 彩度について 映像の色の鮮やかさを調整します。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。</p>
e-shift	<p>ディスプレイの解像度を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オフ：1080p 解像度に切り替えます。 ・ オン（推奨）：4K 解像度に切り替えます。
ピクチャーモードをリセット	<p>選択したピクチャーモード（プリセットモード、ユーザー設定 1、ユーザー設定 2 を含みます）に対して行ったすべての調整を初期値に戻します。</p>

基本設定メニュー


サブメニュー	機能と説明
パターン	<p>これは画像サイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。テストパターンを閉じるには、このメニューに戻りオフを選択します。</p> 
画面オフタイマー	<p>画面オフタイマーのレベルを 5 から 30 分の範囲で 5 分単位で選択できます。初期設定は無効です。</p>
メッセージ	<p>OK を押すとメッセージメニューが開きます。オフを押すと、ソース情報や最適な解像度などのメッセージが非表示になります。初期設定はオンです。</p>
起動画面	<p>プロジェクター起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。JVC ロゴスクリーン、ブルースクリーン、または黒スクリーンのいずれかを選択できます。</p>
背景色	<p>プロジェクターの背景色を設定します。</p>

詳細設定メニュー

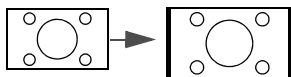

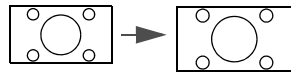
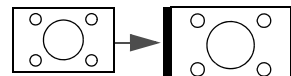
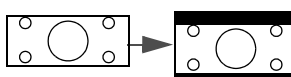


サブメニュー	機能と説明
Input Settings	<ul style="list-style-type: none"> • Color Space Color Space を自動、RGB、YCbCr のいずれかに設定します。 • Input Level Input Level を自動、拡張、ノーマルのいずれかに設定します。
LAN コントロール設定	<ul style="list-style-type: none"> • LAN 設定 OK を押すと LAN コントロール設定メニューが開きます。LAN 設定で DHCP オン と固定 IP のいずれかを選択します。 1. 固定 IP を選択したとき、▼ を押してプロジェクトの IP アドレスを選択し、◀/▶ を使って数値を選択します。 2. ▼ を押してサブネットマスクを選択し、次に ◀/▶ を押して数値を選択します。 3. ▼ を押してデフォルトゲートウェイを選択し、次に ◀/▶ を押して数値を選択します。 4. ▼ を押して DNS サーバーを選択し、次に ◀/▶ を押して数値を選択します。 • LAN コントロールスタンバイ LAN コントロールスタンバイがオンのとき、スタンバイ時（低電源スタンバイ）に LAN 機能を使用できます。オフのときは、スタンバイ時（低電源スタンバイ）に LAN 機能を使用できません。 上の設定を行った後、適用を選択すると設定が有効になります。
HDR	<p>本機は、HDR 入力に対応しています。入力された信号の HDR 情報に基づき、自動的に最適なピクチャーモードに切り替わります。手動で HDR10、HLG または SDR を選択することもできます。</p>
Low Latency Mode	<p>Low Latency Mode は、入力源と画像表示の応答時間を最小化します。この機能は次の入力信号に対応します：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4K 60Hz • 1080p 60/120/144/192/200/240 Hz
光源の設定	<ul style="list-style-type: none"> • 光源モード プロジェクターの光源の電源モードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • ノーマル：光源の輝度を最大限にします。 • エコ：映像の明るさに応じて光源の出力を調整します。最大出力はエコと同様です。 • Dynamic Eco：光源の電力は、表示するコンテンツによって異なります。 • 光源時間情報 光源モードごとの使用時間を表示します。
設定をリセット	<p>OK を押すと、すべての設定がリセットされます。</p> <p> 次の機能は変更されません：台形補正、四隅の調整、ワープ、ズーム、デジタルズーム（調整値が < 1.0x のとき）、デジタルズーム、LAN コントロール設定、言語選択、Projector Mode、高地モード、パスワード、操作方式、ボーレート。</p>


システムメニュー

サブメニュー	機能と説明
言語選択	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
Projector Mode	詳細は、「 設置場所を決める 」を参照してください。
メニュー設定	<ul style="list-style-type: none"> • メニュー表示時間 最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。 • メニューの位置 OSD メニューの位置を選択します。
高地モード	<p>高地や温度が高い場所で使用するモードです。海拔 1500 m ~ 3000 m かつ気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、高地モードをご使用ください。</p> <p>高地モードを選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンの回転速度が速まり、ファンノイズが高くなる場合があります。</p>
Auto Input Search	<p>プロジェクターで自動的に入力ソースを検索するかどうかを設定します。オンを選択して、プロジェクターが入力ソースをスキャンできるようにしてください。この機能がオフになっている場合は、最後に使用した入力ソースが選択されます。</p>
パスワード	<p>セキュリティを高め、不正使用を防止するためにパスワードを設定することができます。パスワードを知っているユーザーのみプロジェクターを操作できるようにします。パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。</p> <p>⚠ パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。</p> <p>まだパスワードを設定していない場合は、新しいパスワード設定するよう要求されます。画面に示す通り、4 つの矢印キー (▲/▶/▼/◀) はそれぞれ 4 つの数字 (1、2、3、4) を示しています。矢印キーを使って 6 桁のパスワードを設定してください。数字を入力すると、***** のようにアスタリスクで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パスワードを変更 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。 • 電源ロック 設定を変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。 <p>⚠ 一度パスワードを設定して電源オンロックを有効にすると、プロジェクターを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクターを使用することはできなくなります。</p> <p>⚠ パスワードを忘れてしまった場合は、お近くの JVC サービスセンターにお問い合わせください。プロジェクターの正当な使用者であることを証明するために、購入時のレシートを提示していただく場合があります。</p>

サブメニュー	機能と説明
コントロールボタンロック	<p>プロジェクターのコントロールキーをロックしておく、(例えばお子様によって) プロジェクターの設定が誤って変更されるのを防止することができます。</p> <p>オンを選択してこの機能を有効にすると、電源を除き、プロジェクターの全コントロールキーが作動しなくなります。</p> <p>キーをロック解除するには、プロジェクターで3秒間 ▶ を押してください。または、リモコンの オフ を押してください。</p> <p> この機能にはリモコンまたはキーパッドからアクセスできます。</p>
操作方式	操作方式 を RS232 または SERVICE Terminal のいずれかで選択します。
ボーレート	<p>適切な RS-232 ケーブルを使ってプロジェクターを接続して、プロジェクターのファームウェアをアップデートまたはダウンロードするためには、コンピューターのボーレートと同じものを選択してください。この機能は、専門のサービス担当者向けの機能です。</p>

表示メニュー

サブメニュー	機能と説明
<p>アスペクト比</p>	<p>☞ 下の図では、黒い部分が無効な領域、白い部分が有効な領域です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>自動</p>  <p>15:9 画像</p> <p>画像を縦横比を保ったまま、プロジェクターのネイティブの解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。スクリーンが最大限に使用されます。</p> <p>4:3</p>  <p>4:3 画像</p> <p>画面の中央に 4:3 の縦横比で表示されるように画像を調整します。</p> <p>16:9</p>  <p>16:9 画像</p> <p>画面の中央に 16:9 の縦横比で表示されるように画像を調整します。</p> <p>16:10</p>  <p>16:10 画像</p> <p>画面の中央に 16:10 の縦横比で表示されるように画像を調整します。</p> <p>2.35:1</p>  <p>2.35:1 画像</p> <p>アナモフィックレンズと組み合わせて使用したときに、シネマスコップサイズのスクリーンに合わせて表示されるよう画像を調整します。</p> <p>ネイティブ</p>  <p>4:3 画像</p> <p>画像を元の解像度で投写し、表示エリアに収まるようにリサイズします。低解像度の入力信号の場合、投写された画像は元のサイズで表示されません。</p>  <p>16:9 画像</p>
<p>台形補正</p>	<ul style="list-style-type: none"> <p>手動</p> <p>斜めからの投写により、台形になった投写画像を調整します。垂直 / 水平歪みを調整したり、画像を回転させたりすることで、画像の歪みを手動で補正することができます。調整したい項目を選択し、◀ または ▶ を使用してください。</p>
<p>四隅の調整</p>	<p>詳細は、20 ページの「4 隅の調整」を参照してください。</p>

サブメニュー	機能と説明
ワープ	<p>この機能は、円柱、球体など、平面でない場所に投写したとき、投写画像の幾何学的な歪みを補正するためのものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 有効 この機能が有効に設定されているときには、次の機能はご使用いただけません。台形補正、四隅の調整。 • 操作方式 ワープ調整の方法を選択できます。 • ワープ調整 この機能は、ワープ > 有効 メニューで オン が選択されているときと、ワープ > 操作方式 メニューで OSD が選択されているときに使用できます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 調整したいポイントにカーソルを動かすには、▲/▼/◀/▶ をお使いください。 2. OK を押すと調整モードに入ります。 3. ▲/▼/◀/▶ を使って、x 軸と y 軸でポイントをシフトさせます。 4. MENU を押すと調整モードを終了します。 5. 調整結果に満足できるまで、ステップ 1 から 4 を繰り返して別のポイントも調整してください。 6. MENU を押すとこの機能を終了します。 • リセット ワープメニューの設定を工場出荷時の値に戻します。
ズーム	<p>レンズを 0.8X ~ 2.0X の範囲でズームします。既定値は 1.0X です。</p>
デジタルズーム	<p>デジタルズームは、-50 から 50 の範囲で垂直 / 水平に調整できます。  ズームが 1.0X 以上のときには、この機能はご使用いただけません。</p>


電源管理メニュー

サブメニュー	機能と説明
自動電源オン	<ul style="list-style-type: none"> • 信号 信号が HDMI に設定されているとき、プロジェクターに HDMI 信号が検出されると、スタンバイモードから自動的に復帰させます。 • ダイレクト電源オン 電源コードを接続して電源供給を行うと、プロジェクターが自動的にオンになります。
Power Settings	<ul style="list-style-type: none"> • オートパワーオフ 長時間信号が検出されない場合、電源を切ります。詳細は、「オートパワーオフの設定」を参照してください。 • スリープタイマー プロジェクターの電源を切るタイマーを設定します。タイマーがゼロまでカウントダウンすると、プロジェクターの電源を切っても良いか確認メッセージが表示されます。 • 省電力モード 信号が 5 分間検出されなければ、光源は省エネモードに入ります。

サブメニュー	機能と説明
12V トリガー	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフ：プロジェクターの電源を入れたときコントロール信号が送信されません。 ・ オン：プロジェクターの電源が入ったときにローからハイのコントロール信号を送信し、電源がオフになったときにハイからローの信号を送信します。

インフォメーションメニュー

サブメニュー	機能と説明
入力	現在の信号ソースが表示されます。
解像度	入力ソースの解像度が表示されます。
MaxCLL / FALL	HDR10 コンテンツの最大輝度 (MaxCLL) と、平均最大輝度 (MaxFALL) が表示されます。
カラーシステム	入力システムフォーマットが表示されます。
IP アドレス	現在の IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス	現在の MAC アドレスが表示されます。
ファームウェアバージョン	プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。
Low Latency Mode	現在の Low Latency Mode が表示されます。
シリアル番号	プロジェクターのシリアル番号が表示されます。

 一部の情報は、特定の入力ソースでしか表示されません。

OSD メニューリスト

OSD メニューは、選択した入力タイプによって異なります。

メインメニュー	サブメニュー	オプション		
ピクチャー	ピクチャーモード	Natural/ シネマ / ダイナミック / ゲーム / Animation/ ユーザー設定 1/ ユーザー設定 2		
	輝度			
	コントラスト			
	色温度		9500K/8500K/7500K/6500K/5500K	
			赤ゲイン	
			緑ゲイン	
			青ゲイン	
			赤オフセット	
			緑オフセット	
			青オフセット	
	基本設定	シャープネス		
		ガンマ調整	1.8/2.0/2.2/2.4/2.6	
		Picture Tone	-2/-1/0/+1/+2	
		詳細設定	BrilliantColor	オフ /1/2/3/4/5/6/7/8/9/10
			カラーマネージメント	原色
色相				
ゲイン				
彩度				
e-shift		オフ / オン		
ピクチャーモードをリセット		リセット / キャンセル		
基本設定		パターン	オフ / オン	
		画面オフタイマー	無効 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 25 分 / 30 分	
		メッセージ	オフ / オン	
		起動画面	黒 / 青 / JVC	
		背景色	緑 / 黒 / 青	
	詳細設定	Input Settings	Color Space	自動 / RGB/YCbCr
Input Level			自動 / 拡張	
LAN コントロール設定			LAN 設定	
			プロジェクトの IP アドレス	
			サブネットマスク	
			デフォルトゲートウェイ	
			DNS サーバー	
			LAN コントロールスタンバイ	
HDR		HDR/HLG	適用	
Low Latency Mode			自動 / SDR	
			オフ / オン	
光源の設定		光源モード	光源モード	ノーマル / エコ / Dynamic Eco
			光源使用時間	
		光源時間情報		ノーマル
				エコ
			Dynamic Eco	
	設定をリセット		リセット / キャンセル	

メインメニュー	サブメニュー	オプション	
システム	言語選択	English/ Deutsch/ Español/ Italiano/ Français/ Português/ Nederlands/ Русский/ Polski/ Čeština/ Svenska/ Türkçe/ 简体中文/ 繁體中文/ 日本語/ فارسی	
	Projector Mode	正面 / 背面 / 天吊正面 / 天吊背面	
	メニュー設定	メニュー表示時間	Always On/5 秒 /10 秒 /15 秒 /20 秒 /25 秒 / 30 秒
		メニューの位置	中央 / 左上 / 右上 / 右下 / 左下
	高地モード	オフ / オン	
	Auto Input Search	オフ / オン	
	パスワード	パスワードを変更	
		電源ロック	オフ / オン
	コントロールボタン ロック	オフ / オン	
	操作方式	RS232	
		SERVICE Terminal	
	ポータレート	2400/4800/9600/14400/19200/38400/57600/ 115200	
	アスペクト比	自動 /4:3/16:9/16:10/2.35:1/ ネイティブ	
	台形補正	手動	垂直
水平			
四隅の調整	右上	45°/90°	
	左上	45°/90°	
	右下	45°/90°	
	左下	45°/90°	
	有効	オフ / オン	
ワーブ	操作方式	OSD	
	ワーブ調整	RS232	
	リセット		
ズーム	0.8X ~2.0X		
デジタルズーム	垂直 / 水平 : -50 ~ 50		
電源管理	自動電源オン	信号 無効 /HDMI	
		ダイレクト電源オン 無効 / 有効	
		オートパワーオフ 無効 /10 分 /20 分 /30 分	
	Power Settings	スリープタイマー 無効 /30 分 /1 時間 /2 時間 /3 時間 /4 時間 / 8 時間 /12 時間	
		省電力モード 有効 / 無効	
12V トリガー	オフ / オン		

インフォメーション

入力

解像度

MaxCLL / FALL

カラーシステム

IP アドレス

MAC アドレス

ファームウェアバージョン

Low Latency Mode

シリアル番号

メンテナンス

プロジェクターのお手入れ

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。

プロジェクターのパーツをお手入れされる前に、正しい手順でシャットダウンして電源を切り（詳細は、「[プロジェクターの終了](#)」を参照してください）、電源ケーブルを抜いてください。その後、完全に冷却させてください。

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズクリーニングペーパーまたはレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性/酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

☞ レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクターがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。

プロジェクター外装のお手入れ

プロジェクターのパーツをお手入れされる前に、正しい手順でシャットダウンして電源を切り（詳細は、「[プロジェクターの終了](#)」を参照してください）、電源ケーブルを抜いてください。その後、完全に冷却させてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

☞ ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する場合：

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、「[仕様](#)」を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- 調整脚をおさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまします。

プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

光源情報

光源時間を知るには

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーが光源の使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

光源時間を確認する：

1. **MENU** を押します。
2. 矢印キー（◀/▶/▲/▼）を使って**インフォメーション**を開くか、**詳細設定 > 光源の設定 > 光源時間情報**メニューを開きます。
3. **光源使用時間情報**が表示されます。
4. **MENU** を押して終了します。

光源の寿命を延長する

光源の寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

OSD メニューにアクセスする手順については、「[OSD メニューの使用方法](#)」を参照してください。

光源モードの設定

光源の寿命は、光源モードを変更することで延長できます。

1. **詳細設定 > 光源の設定 > 光源モード**を選択します。
2. ◀/▶ を押して任意のモードを選択したら、**OK** を押します。
3. 完了したら、**MENU** を押して変更内容を保存し、終了します。

オートパワーオフの設定

指定した時間を経過しても入力ソースが検出されないときに、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

1. **電源管理 > Power Settings > オートパワーオフ**を選択します。
2. ◀/▶ を押して時間を選択します。プリセット時間の長さがプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンしません。
3. 完了したら、**MENU** を押して変更内容を保存し、終了します。

インジケータ

プロジェクターの状態を示すインジケータライトは3個あります。インジケータライトについては、次の情報を参照してください。問題がある場合はプロジェクターの電源を切り、販売店にお問い合わせください。

ライト			状態と説明
LIGHT ○	TEMP ○	POWER ○	
電源の状況			
オフ	オフ	緑点滅	スタンバイ モードです。
オフ	オフ	緑	電源を入れています。
オフ	オフ	緑	通常動作状態です。
オフ	オフ	緑点滅	通常の電源オフ冷却。
オフ	オフ	赤	ダウンロード中。
赤	オフ	緑	カラーホイール エラーです。
赤点滅	オフ	緑	蛍光ホイール エラーです。
光源での発生イベント			
赤	オフ	オフ	通常動作時に光源エラー発生。
赤	オフ	緑点滅	光源が点灯しない。
温度の状況			
オフ	赤	オフ	ファン 1 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
赤	赤	オフ	ファン 2 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
緑	赤	オフ	ファン 3 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オレンジ	赤	オフ	ファン 4 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	赤点滅	ファン 5 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤点滅	赤点滅	ファン 6 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
赤	緑	オフ	ファン ic1 エラーです（スケーラーとファン ic1 のコミュニケーションが確立されていません）。
赤	緑点滅	オフ	ファン ic2 エラーです（スケーラーとファン ic2 のコミュニケーションが確立されていません）。
赤	赤	オレンジ	温度 1 エラー（上限温度オーバー）。
オレンジ	オレンジ点滅	オレンジ	MCU ダウンロード。

困ったときは？

問題	原因	対応
プロジェクターの電源がオンにならない。	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクターの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっているかを確認してください。
	冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。
画像が映らない。	ビデオソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
	プロジェクターが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。
	入力ソースが正しく選択されていません。	プロジェクターまたはリモコンの INPUT キーで正しい信号を選択してください。
	HDMI ケーブルが 4K 信号に対応していない。	プレミアムハイスピード HDMI ケーブル (18 Gbps) をご使用ください。
イメージが不安定です。	接続ケーブルがプロジェクターまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。
イメージがぼやける。	投写レンズの焦点が合っていません。	フォーカスリングで焦点を合わせてください。
	プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。
	レンズカバーが閉じられたままです。(該当する場合)	レンズカバーを外してください。(該当する場合)
リモコンが機能しない。	電池が切れています。	新しい電池に交換します。
	リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
	プロジェクターからの距離が遠すぎます。	プロジェクターから 8 メートル (26.2 フィート) 以内の場所に立ちます。

仕様

プロジェクターの仕様

☞仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

光学仕様

解像度

1920 x 1080

3840 x 2160 (e-shift)

ディスプレイ システム

シングルチップ DLP™ システム

レンズ

F = 1.809、f = 14.3~22.9 mm

光源

レーザー

電気仕様

電源

AC100V、4 A、50-60 Hz (自動)

電力消費量

340 W (最大)、< 0.5 W (スタンバイ)、

LAN : < 2 W

出力端子

12VDC 2.5 (最大 0.5 A) x 1

3.5 mm ステレオミニジャック

DC 5V 出力 (最大 2.5 A) x 1

SERVICE (USB Type-A) ポート

操作

RS-232 シリアル コントロール

9 ピン x 1

IR 受信機 x 2

RJ45 LAN x 1

入力端子

ビデオ信号入力

SD/HDTV 信号入力

デジタル - HDMI x 2

デジタル - USB x 1

デジタル - DisplayPort x 1

環境要件

動作温度範囲

0°C–40°C (海拔 0 m 以上)

動作相対湿度

10%–90% (結露なきこと)

動作高度

0–1499 m at (0°C–35°C)

1500–3000 m (0°C–30°C のとき、

高地対応モードオン)

機械仕様

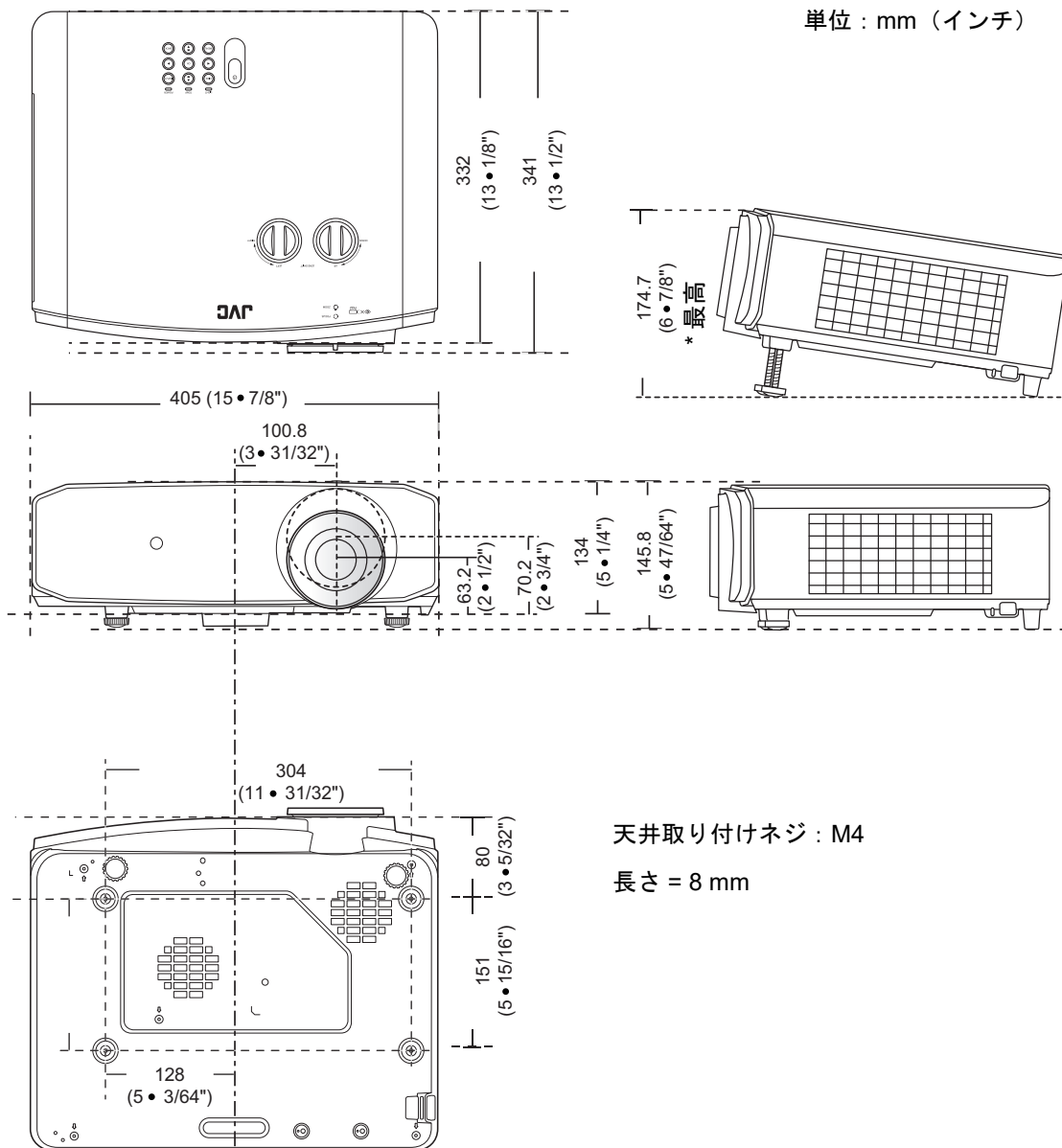
重量

5.9 Kg (13.01 lbs)

外形寸法

405 mm x 341 mm x 146 mm (15 • 7/8" x 13 • 1/2" x 5 • 3/4") (W x D x H)

単位 : mm (インチ)



天井取り付けネジ : M4

長さ = 8 mm

対応信号

DisplayPort、HDMI (HDCP)、USB 入力の対応タイミング

フォーマット	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
	SVGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.854	77.425	83.000
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	XGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.989	97.551	115.500
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250
	1280 x 720_120	120	90.000	148.500
1280 x 768	1280 x 768_60 (リデュースド ブランキング)	60	47.396	68.25
	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500
	WXGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.909	101.563	146.25

1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500
1440 x 900	WXGA+_60 (リデュースド ブランキング)	60	55.469	88.75
	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA	60.000	75.000	162.000
1680 x 1050	1680 x 1050_60 (リデュースド ブランキング)	59.883	64.674	119.000
	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280
1024 x 768@75Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080_60	60	67.5	148.5
1920 x 1200@60Hz	1920 x 1200_60 (リデュースド ブランキング)	59.95	74.038	154
1920 x 1080 (VESA)	1920X1080_60 (講堂モデル用)	59.963	67.158	173
1920 x 1080@120Hz	1920 x 1080_120	120.000	135.000	297
1920 x 1080@240Hz	1920 x 1080_240	239.76	291.309	582.617
1920 x 1200@120Hz	1920 x 1200_120 (リデュースド ブランキング)	119.909	152.404	317.00
3840 x 2160	3840 x 2160_30	30	67.5	297
3840 x 2160	3840 x 2160_60	60	135	594

☞ 上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

タイミング	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
480p	720 x 480	59.94	31.47	27
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p	1280 x 720	60	45.00	74.25
1080/24p	1920 x 1080	24	27	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.13	74.25
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/50p	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60p	1920 x 1080	60	67.5	148.5
1080/120p	1920 x 1080	120	135	297
1080/240p	1920 x 1080	240	135	594
2160/24p	3840 x 2160	24	54	297
2160/25p	3840 x 2160	25	56.25	297
2160/30p	3840 x 2160	30	67.5	297
2160/50p	3840 x 2160	50	112.5	594
2160/60p	3840 x 2160	60	135	594

保証と著作権について

保証

JVCKENWOOD Corporation は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、JVCKENWOOD Corporation の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が JVCKENWOOD Corporation の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度と高度は取扱説明書に記載される環境要件を満たす必要があります。また、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

著作権

Copyright © 2022. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、JVCKENWOOD Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピューター言語への翻訳を行うことはできません。

すべての商標と登録商標の所有権は、各社に帰属します。

おことわり

JVCKENWOOD Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、JVCKENWOOD Corporation は本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても JVCKENWOOD Corporation が通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

商標と著作権について



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

USB Type-C™ および USB-C™ は、USB インプリメンターズ フォーラムの登録商標です。